

資料提供	
令和6年7月24日	
担当課 (担当者)	感染症対策センター (衛生環境研究所) (福田、最首)
電話	0858-35-5411

鳥取県感染症流行情報（速報）

第29週 [令和6年7月15日(月・祝)～7月21日(日)]

<主な定点把握対象感染症>

疾 病 名	東 部	中 部	西 部
インフルエンザ	△	×	×
感染性胃腸炎	△	△	○
水痘（水ぼうそう）	◎	△	×
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	×	×	×
手足口病	★	★	★
ヘルパンギーナ（夏かぜ）	○	◎	◎
咽頭結膜熱	○	◎	○
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	★	★	★
流行性角結膜炎	×	×	×
マイコプラズマ肺炎	×	×	×
伝染性紅斑	×	×	×
RSウイルス感染症	◎	○	◎

★ 警報発令中
◎ 流行している ○ やや流行している
△ 散発 × 患者発生極少又はなし

<新型コロナウイルス感染症>

地 区	東 部	中 部	西 部	合 計	全国（第28週）
患者数（人）	191	86	163	440	
定点当たり患者数	15.92	14.33	14.82	15.17	11.18
流行情報	○注意	○注意	○注意		

○注意レベル： 定点当たり10人/週（今後の感染拡大に注意が必要と考えられる段階）
◎警戒レベル： 定点当たり20人/週（感染者数の加速度的な増大のおそれがある段階）

【コメント】

- 1 新型コロナウイルス感染症は、全地区で患者報告数が前週の約2倍に急増し、注意レベルを超えています。今後さらなる感染拡大が懸念されるため注意が必要です。
- 2 手足口病警報が発令中です。中部及び西部地区で患者報告数が増加し、東部及び中部地区で流行しています。特に中部地区で急増しており、引き続き注意が必要です。
- 3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎警報が発令中です。西部地区で患者報告数が増加し、東部及び中部地区で流行しています。引き続き注意が必要です。
- 4 咽頭結膜熱は、中部地区で患者報告数が急増し、流行しています。警報レベルを超えており、注意が必要です。

- 5 RSウイルス感染症は、東部及び西部地区で流行しています。
- 6 ヘルパンギーナは、中部及び西部地区で流行しています。
- 7 水痘は、東部地区で患者報告数が増加し、流行しています。
- 8 定点における患者報告数（「流行している」と判定された疾病または、20件を目途に報告数が多い疾病）；
 - ・新型コロナウイルス感染症（440件）
 - ・手足口病（112件）
 - ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（93件）
 - ・RSウイルス感染症（57件）
 - ・感染性胃腸炎（54件）
 - ・ヘルパンギーナ（30件）
 - ・咽頭結膜熱（22件）
 - ・水痘（5件）

【お知らせ】

- 新型コロナウイルス感染症は全地区で注意レベルを超えています。
- 手足口病警報が発令中です。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎警報が発令中です。

病名	特徴	予防のポイント	
		個別事項	共通事項
新型コロナウイルス感染症	発熱、咳、全身倦怠感等の感冒様症状を主症状とする新型コロナウイルスの感染によって起こる感染症です。頭痛、下痢、結膜炎、嗅覚障害、味覚障害等を呈する場合もあります。ご高齢の方、基礎疾患を持つ方は重症化するリスクがあります。	<ul style="list-style-type: none"> ・手指消毒、換気の徹底、場面に応じたマスク着用などに心がけ、特に高齢者と接する場合などは、体調を整えるようにしましょう。 ・重症化リスクの高い方は、近接した会話や混雑した場所を避けることが有効です。 ・感染の不安があり受診される場合は、医療機関へ事前に電話連絡の上、指示に従って受診しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特に流行時には手洗いをしっかりとしましょう。 ・症状があった場合は、早めに医療機関を受診しましょう。
手足口病	口腔粘膜および手や足などに現れる水疱性の発疹を主症状とした急性のウイルス感染症で、幼児を中心に夏季に流行が見られます。	<ul style="list-style-type: none"> ・流行時に手指の消毒を励行しましょう。 	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	発熱と咽頭痛、発疹等の症状がみられる細菌による感染症です。まれに重症化することもあり、小児だけでなく成人でも発症します。	<ul style="list-style-type: none"> ・咳エチケットを心がけましょう。 	
咽頭結膜熱	アデノウイルスの感染により、発熱、のどの痛み、結膜炎といった症状をきたす、小児に多い感染症です。	<ul style="list-style-type: none"> ・感染者との密接な接触は避けましょう（タオルなどは個人用としましょう）。 	
RSウイルス感染症	RSウイルスの感染による呼吸器の感染症で、年齢を問わず感染し、特に乳幼児期において重症な症状を引き起こします。	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に触れるおもちゃ、手すりなどはこまめにアルコールや塩素系の消毒剤等で消毒しましょう。 ・咳エチケットを心がけましょう。 	

ヘルパンギーナ	発熱と口腔粘膜にあらわれる水疱性の発疹を特徴とした急性のウイルス性咽頭炎であり、乳幼児を中心に夏季に流行する夏かぜの代表的疾患です。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 流行時に手指の消毒を励行しましょう。 	
水痘	水痘帯状疱疹ウイルスの感染により、水疱（水ぶくれ）、発熱といった症状をきたす、小児に多い感染症です。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期接種等でのワクチンによる予防が有効です。 	

※咳エチケット：咳、くしゃみが出る場合には、ティッシュ、ハンカチなどで鼻や口を押さえ飛沫を飛ばさないようにすること

鳥取県感染症発生動向調査情報（週報）

第29週 [令和6年7月15日(月)～21日(日)]

(地区別)

令和6年7月24日 作成

(件)

	東 部		中 部		西 部		合 計			県内1定点当		全国1
	29週	前週比	29週	前週比	29週	前週比	29週	28週	前週比	29週	28週	定点当
インフルエンザ/COVID-19定点数	12		6		11		29					
1 インフルエンザ	6	—	0	—	0	—	6	0	—	0.21	0.00	0.33
2 新型コロナウイルス感染症	191	217%	86	179%	163	172%	440	231	190%	15.17	7.97	11.18
小児科定点数	8		4		7		19					
3 咽頭結膜熱	2	100%	14	233%	6	75%	22	16	138%	1.16	0.84	0.60
4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	51	76%	21	84%	21	131%	93	108	86%	4.89	5.68	3.01
5 感染性胃腸炎	24	86%	9	75%	21	175%	54	52	104%	2.84	2.74	3.71
6 水痘	4	—	1	100%	0	—	5	1	500%	0.26	0.05	0.20
7 手足口病	58	67%	44	191%	10	111%	112	118	95%	5.89	6.21	13.34
8 伝染性紅斑	0	—	0	—	0	—	0	0	—	0.00	0.00	0.09
9 突発性発疹	1	50%	0	0%	3	300%	4	4	100%	0.21	0.21	0.29
10 ヘルパンギーナ	7	100%	10	71%	13	72%	30	39	77%	1.58	2.05	2.42
11 流行性耳下腺炎	0	—	0	—	0	—	0	0	—	0.00	0.00	0.06
12 RSウイルス感染症	22	81%	5	56%	30	83%	57	72	79%	3.00	3.79	1.84
眼科定点数	2		1		2		5					
13 急性出血性結膜炎	0	—	0	—	0	—	0	0	—	0.00	0.00	0.03
14 流行性角結膜炎	1	—	0	—	1	100%	2	1	200%	0.40	0.20	0.55
基幹定点数	2		1		2		5					
15 細菌性髄膜炎	0	—	0	—	0	0%	0	1	0%	0.00	0.20	0.02
16 無菌性髄膜炎	0	—	0	—	1	—	1	0	—	0.20	0.00	0.03
17 マイコプラズマ肺炎	0	—	0	—	0	—	0	0	—	0.00	0.00	0.65
18 クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	—	0	—	0	—	0	0	—	0.00	0.00	0.00
19 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)	0	—	0	—	0	—	0	0	—	0.00	0.00	0.01
合 計	367	168%	190	209%	269	264%	826	643	128%			

※中部の19の件数は、5の再掲(基幹定点が小児科定点と共通のため)。

第29週の感染症発生動向調査情報について

- 新型コロナウイルス感染症は、全地区で患者報告数が前週の約2倍に急増し、注意レベルを超えています。今後さらなる感染拡大が懸念されるため注意が必要です。
- 手足口病警報が発令中です。中部及び西部地区で患者報告数が増加し、東部及び中部地区で流行しています。特に中部地区で急増しており、引き続き注意が必要です。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎警報が発令中です。西部地区で患者報告数が増加し、東部及び中部地区で流行しています。引き続き注意が必要です。
- 咽頭結膜熱は、中部地区で患者報告数が急増し、流行しています。警報レベルを超えており、注意が必要です。
- RSウイルス感染症は、東部及び西部地区で流行しています。
- ヘルパンギーナは、中部及び西部地区で流行しています。
- 水痘は、東部地区で患者報告数が増加し、流行しています。
- 定点における患者報告数（「流行している」と判定された疾病または、20件を目途に報告数が多い疾病）；
 - ・新型コロナウイルス感染症（440件）
 - ・手足口病（112件）
 - ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（93件）
 - ・RSウイルス感染症（57件）
 - ・感染性胃腸炎（54件）
 - ・ヘルパンギーナ（30件）
 - ・咽頭結膜熱（22件）
 - ・水痘（5件）